

だ み よ く り に

No.716 令和3年8月1日発行

夏の声 園長 和田美佳

月日が経つのは早いもので、今年ももう8月になります。青い空に白い雲、せみの鳴き声、お店に並ぶスイカ。夏の風物詩をたくさん見聞きするようになりました。今年の夏も暑くなるようです。熱中症に充分気をつけて過ごしましょう。

そんな暑さを吹き飛ばしてくれるのが、子どもたちの声です。7月19日に年長さんはサイエンスショーを鑑賞し、盛り上がりました。以前よくテレビにも出演されていた米村でんじろう先生直伝の空気砲、傘袋ロケット、セロファンの人形、巨大風船。一つ見るたびに、「えー」「すごい」「なんで」の連続でした。それを聞いて、実施してよかったと感じました。「わからなかったら実験してみよう」これは、お兄さんが何度か言っていた言葉です。大事ですね。「すごい」「なんで」「おもしろい」にたくさん出逢い、子どもたちの未来に芽吹くことを願ったイベントとなりました。

さて、どんな夏休み（休日）を過ごしますか（「夏休み」と言いますが、お仕事などの方の保育は続きますので、いわゆる「幼稚園の夏休み」とは異なります。該当しない方は「休日」と読んでください）。コロナウイルス感染症のことで外出が難しい状況でもあり、どう過ごそうかと悩んでいる方もいらっしゃるかもしれません。

特別なことは要りません。ただ一緒に過ごす日常をほんの少し丁寧に、一緒に行ってみてください。「おはよう」「おやすみ」の挨拶をする、布団を整える、カーテンを開ける、靴を揃える、荷物を持つ、手を繋いで歩く、褒めるときに抱きしめる……そんな日常のことで構いません。子どもにとって、家族、おうちの方は「1番」です。その方々と一緒にいられて、心が安定するいい一時です。そして、日常を一緒に過ごす中で、ぜひ思い出していただきたい言葉を添えます。



とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

(中略)

誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

(中略)

やさしく、思いやりを持って育てれば、
子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス 著
石井千春 訳『子どもが育つ魔法の言葉』

あと、おうち時間でおすすめのものが、絵本です。テレビや○○チューブではありません。絵本は寝る前でも構いません。皆さんの中にも、家族に読んでもらった幼い頃の記憶がある方がいるのではないのでしょうか。おうちの方の声、ページをめくる音、肌の感触……内容に限らず、子どもたちの心に届くものがたくさんあるのが絵本です。年長さんは絵が少なく文字が多い短編の物語を読み聞かせるのもいいと思います。わたしは絵本が好きです。ちなみに、わたしも幼い頃、母に絵本を読んでもらった温かい記憶がある一人です。

さて、一学期、どんな思いで過ごされましたか。入園や進級、友だち関係、泣いて登園をしぶったなど、不安や心配があったのではないのでしょうか。成長途中の乳幼児期ですから、当然です。ですが、それを乗り越えてお子さまを登園させていただけたこと、ご家庭で努力されていることに感謝します。保護者の方々の頑張りや添いながら、これからも一緒にお子さまを見守っていきます。